

報道関係各位

東京ミッドタウンマネジメント株式会社

東京ミッドタウンにデザインとアートのイベントが集結！ 六本木の街を彩る、感性と出会う秋

2026 年秋、東京ミッドタウン(港区赤坂／事業者代表：三井不動産株式会社)周辺では、六本木の街を巡りながら楽しめるデザインとアートのイベントが開催されます。作品展示に加え、パフォーマンスや音楽、参加型コンテンツなど、多彩な表現との出会いが街の各所に広がります。

東京ミッドタウンでは、デザインと触れ合う秋の祭典「TOKYO MIDTOWN DESIGN LIVE 2026(東京ミッドタウン デザインライブ / 以下 DESIGN LIVE 2026)」を 10 月 16 日(金)から 11 月 4 日(水)まで開催いたします。

心を動かす作品や暮らしを豊かにするアイデアに触れながら、デザインとアートとともに過ごす、秋のひとつをお楽しみください。



【各イベント 概要】

東京ミッドタウン	
TOKYO MIDTOWN DESIGN LIVE 2026 10月16日(金)～11月4日(水)	展示やトーク、音楽ライブなどの多彩なプログラムを通じて、「当たり前」の日常が、おもしろくなる」発見や想像を楽しむデザインの祭典
TOKYO MIDTOWN AWARD 2026 EXHIBITION 10月9日(金)～11月8日(日)	次世代を担うデザイナーやアーティストの自由な発想と瑞々しい才能に、いち早く出会える作品展
G展・2026年度グッドデザイン賞受賞展 10月31日(土)～11月4日(水)	プロダクトから建築、サービス、活動まで、2026年を代表する「よいデザイン」が一堂に会する展覧会
企画展「方丈記に学ぶ-生きるを編み直す小さな建築-」 21_21 DESIGN SIGHTギャラリー1&2 8月28日(金)～2027年1月11日(月・祝)	『方丈記』の小さな庵が手がかりに、多彩なクリエイターによる建築を巡りながら、これからの暮らしと生き方を見つめ直す展覧会
『一枚の布の可能性』TYPE-XVII JAXA project by A-POC ABLE ISSEY MIYAKE 21_21 DESIGN SIGHTギャラリー3 10月21日(水)～11月19日(木)	科学とデザインを横断し、「一枚の布」というイッセイ ミヤケのモノづくりの思想を再考し、未来の服作りの可能性を探る展覧会
JAGDA Exhibition 2026 東京ミッドタウン・デザインハブ 10月2日(金)～10月25日(日)	全国のデザイナーの地域や領域を越えて社会と向き合う作品を通じ、日本のグラフィックデザインの現在地に触れる展覧会
逸翁美術館コレクション 蕪村・呉春と茶の湯の名品 サントリー美術館 9月16日(水)～11月8日(日)	与謝蕪村・呉春の絵画や茶道具など、逸翁美術館が誇る選りすぐりの名品から日本美術の豊かな世界を堪能する展覧会
六本木／周辺施設	
六本木アートナイト2026 10月31日(土)～11月1日(日)	六本木の街を彩るアートや音楽、映像、パフォーマンスを、3年ぶりのオールナイトで体感する一夜限りの祭典
DESIGNART TOKYO 2026 10月30日(金)～11月8日(日)	デザイン、アート、インテリア、工芸、フードなど、多彩なクリエイションが都内各所に集まるデザイン&アートフェスティバル
ARTE TOKYO 10月10日(土)～12月31日(木)	アートや音楽、演劇、イルミネーションなど、多彩な文化体験との出会いを楽しみながら秋冬の東京を巡る都市型文化芸術祭
ルーヴル美術館展 ルネサンス 国立新美術館 9月9日(水)～12月13日(日)	初来日となるレオナルド・ダ・ヴィンチの傑作をはじめ、ルーヴル美術館の56点の名品からルネサンス美術の魅力に迫る展覧会

● 東京ミッドタウン周辺でデザイン・アートイベントが広域に連携

「DESIGNART TOKYO 2026」「六本木アートナイト 2026」「ARTE TOKYO」「G 展・2026 年度グッドデザイン賞受賞展」など、デザインやアートを存分に楽しめる多彩な大型イベント開催！文化施設や街なかを巡りながら、「芸術の秋」を楽しめます。

● “見る”だけで終わらない——六本木の街全体で芸術を楽しむ

「DESIGN LIVE 2026」の作品展示に加え、音楽やパフォーマンス、来場者参加型コンテンツを展開！3年ぶりにオールナイトが復活する「六本木アートナイト 2026」も加わり、六本木の街全体が熱気に包まれます。来場者自身も参加しながら楽しめる、見るだけでは終わらない体験をお届けします。

六本木周辺で芸術の秋を存分に堪能する！モデルコース

■親子で楽しむ「見て、食べて、遊ぶ一日コース」

鑑賞だけでなく、食事や屋外遊びまで組み合わせ、子どもも大人も退屈せずに楽しむ



- ・ 展示鑑賞／国立新美術館で「ルーヴル美術館展 ルネサンス」を鑑賞。レオナルド・ダ・ヴィンチの《女性の肖像》、通称《美しきフェロニエール》など、ルネサンス美術の真髄にふれる
- ・ 食事／東京ミッドタウンのレストランで「[ルーヴル美術館展 ルネサンス](#)」コラボメニューをお得に味わう
- ・ イベント参加／「DESIGN LIVE 2026」にて開かれるブックマーケットに参加。本との出会いを楽しみ、家族で絵本ライブを鑑賞
- ・ 遊び／「DESIGN LIVE 2026」ミッドタウン・ガーデンにて「うみのハンモック」で遊ぶ

▷ DESIGN LIVE 2026 内詳細コンテンツは[こちら](#)

※一部写真はイメージです。

■週末に巡る「六本木周辺のデザイン＆アート満喫コース」

デザインやアートの展示をじっくり楽しみながら、都会の芸術の秋を満喫する



- ・ 展示鑑賞／「DESIGN LIVE EXHIBITION」「G 展・2026 年度グッドデザイン賞受賞展」で、日々を豊かにする多彩なデザインにふれる
- ・ 展示鑑賞／「21_21 DESIGN SIGHT」や「サントリー美術館」の展示を鑑賞し、暮らしとデザインやアートの関わりに想いを巡らせる
- ・ 街歩き／「ARTE TOKYO」や「DESIGNART TOKYO 2026」の会場で、街での作品との出会いを楽しむ
- ・ 夜の楽しみ／「六本木アートナイト 2026」で一夜限りの作品やパフォーマンスをオールナイトで満喫

※一部写真はイメージです。

●「みつめる」ことで、日常の面白さに出会うデザインイベント

「TOKYO MIDTOWN DESIGN LIVE 2026」

「あたりまえの日常が、おもしろくなるデザインイベント。」をコンセプトに、2026 年は「みつめる」をテーマとして、19 組のクリエイターによる展示を中心に、音楽・食・本など多彩な切り口から日常に潜むデザインの可能性を発見するイベント。

▽TOKYO MIDTOWN DESIGN LIVE 2026 詳細リリースはこちら

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000361.000027065.html>

●明日の才能を発掘・支援する

「TOKYO MIDTOWN AWARD 2026 EXHIBITION」

才能あるクリエイターとの出会い・支援・コラボレーションを目指して開催する、デザインとアートのコンペティション。19 回目となる今年は、1,579 点の応募作品から選出されたファイナリストによる全 16 点の作品(デザインコンペ 10 点、アートコンペ 6 点)を、一挙に展示します。

【詳細】<https://www.tokyo-midtown.com/jp/award/>

●本年度全受賞デザインを一同に展示

「G 展・2026 年度グッドデザイン賞受賞展」

約 1,500 点の最新受賞デザインが集合。生活用品、情報機器や産業機器、メディアや建築、取り組みまで、デザインの最先端を見て触って学んで買える国内最大級のイベントです。

【詳細】<https://www.g-mark.org/>

●東京の街全体をミュージアムにする「DESIGNART TOKYO 2026」

デザイン、アート、インテリア、工芸、フードなど、多彩なクリエイションが都内各所に集まるデザイン&アートフェスティバルです。10 回目のテーマは「Hibiki」。メイン会場は話題の KK 線(銀座)で開催します。心に響く未来の名作を見つける機会です。

※DESIGN LIVE 2026 期間中、東京ミッドタウンでも作品展示予定。

【詳細】<https://www.designart.jp/designarttokyo2026/>

●東京の秋冬を文化で彩る新たな都市型文化芸術祭「ARTE TOKYO」

秋から冬に東京で開催されるアート、演劇、音楽、イルミネーション、エンターテインメントなどを結び、都市全体の文化的な魅力を発信する、東京都・東京国際文化芸術祭実行委員会主催の新しい文化芸術祭です。「TOKYO MIDTOWN DESIGN LIVE 2026」「TOKYO MIDTOWN AWARD 2026 EXHIBITION」「DESIGNART TOKYO 2026」「六本木アートナイト 2026」は「ARTE TOKYO(東京国際文化芸術祭)」のパートナー プログラムです。

【詳細】<https://artetokyo.jp/ja/>

●3 年ぶりにオールナイト開催が復活する「六本木アートナイト 2026」

六本木の美術館、文化施設、大型複合施設、商店街、公共スペースなどに、現代アート、音楽、映像、パフォーマンスを展開するアートの祭典です。2026 年は日没から夜明けまで楽しめるオールナイト開催が 3 年ぶりに復活します。

【詳細】<https://roppongiartnight.com/2026/>

あたりまえの日常がおもしろくなる。
東京ミッドタウンのデザインの祭典

TOKYO MIDTOWN
**DESIGN
LIVE**

2026年10月16日(金) - 11月4日(水)

TOKYO
MIDTOWN
AWARD
2026



2026年度グッドデザイン賞受賞展
10月31日(金) - 11月4日(水)
11月4日(水)は2026年10月10日(土)の
東京ミッドタウンの休館日(10月10日)に
代わります。



**ARTE
TOKYO**



DESIGN LIVE 2026 期間中に開催される展覧会情報



●21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー1&2

企画展「方丈記に学ぶ -生きるを編み直す小さな建築-」

鴨長明の『方丈記』に記された、一丈四方、約 9 平方メートルの「方丈の庵」を手がかりに、現代の暮らしと構築環境を考える展覧会です。展覧会ディレクターに建築家・塚本由晴を迎え、建築家、デザイナー、美術家、企業などがそれぞれの方丈の庵を構想します。

【詳細】<https://www.2121designsight.jp/program/hojoki/>

●21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー3

『一枚の布の可能性』TYPE-XVII JAXA project by A-POC ABLE ISSEY MIYAKE

本展は、「科学とデザイン」という異なる領域を横断しながら、「一枚の布」というイッセイ ミヤケのものづくりの思想を再考し、未来の服づくりの可能性を探る試みです。来場者とともに、環境や社会に応答する新たな衣服のあり方について考える場となることを目指します。

【詳細】<https://www.2121designsight.jp/gallery3/>

●東京ミッドタウン・デザインハブ

「JAGDA Exhibition 2026」

全国のデザイナーが地域や領域を越えて社会と向き合う作品が一堂に会し、デザインの熱を可視化します。JAGDA(日本グラフィックデザイン協会)会員 40 組の多様な視点によるデザインの現在地をご覧ください。

【詳細】<https://www.designhub.jp/exhibitions/je2026>

●サントリー美術館

「逸翁美術館コレクション 蕪村・呉春と茶の湯の名品」

阪急東宝グループ(現・阪急阪神東宝グループ)の創業者・小林一三の雅号を冠した逸翁美術館。その約 5,500 件のコレクションから、古筆切、茶道具、与謝蕪村・呉春の絵画など、選りすぐりの作品を紹介します。

【詳細】https://www.suntory.co.jp/sma/exhibition/2026_3/index.html

●国立新美術館

「ルーヴル美術館展 ルネサンス」

ルーヴル美術館のコレクションから選ばれた 56 点の作品を、旅、技法の革新と洗練、古代へのまなざし、肖像芸術の隆盛という 4 つのテーマで紹介します。レオナルド・ダ・ヴィンチの《女性の肖像》、通称《美しきフェロニエール》が初来日します。

※東京ミッドタウンでは、本展とのコラボレーション企画“LOUVRE meets TOKYO MIDTOWN”を実施しています。

【詳細】<https://www.ntv.co.jp/louvre2026/>

※掲載写真は過去のイベントの様子及びイメージです。内容は変更になる場合がございます。

※掲載情報は予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

※最新の営業情報はオフィシャルサイトをご確認ください。

東京ミッドタウンについて



東京ミッドタウンは、広大なグリーンと6つの建物からなる複合都市です。街にはさまざまなショップやレストラン、オフィス、ホテル、緑地、美術館などの施設が集まっています。

四季を感じるイベントで季節に寄り添い、いたるところに息づくデザイン・アートや「TOKYO MIDTOWN AWARD」が発掘した若き才能にふれて新たな発見を。そして街に根づくおもてなしで心が解きほぐされていく。

それらを融合させることで訪れた人に、上質で心地よい場所と時間を提供することを目指しています。

<https://www.tokyo-midtown.com/jp/about/>

三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024年4月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY(重点的に取り組む課題)」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取り組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】 ・「グループ長期経営方針」 <https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>
・「グループマテリアリティ」 https://www.mitsufudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/
・「& EARTH for Nature」 <https://www.mitsufudosan.co.jp/business/development/earth/for-nature/>

また、2025年4月に、街づくりにおける環境との共生宣言「& EARTH for Nature」を策定し、「環境」を自然と人・地域が一体となったものと捉え、豊かな「環境」を広げ、未来の世代へつなぐ街づくりを推進しています。本宣言における重点課題として、「緑を守り育む」「水の魅力を生かす」「生態系を豊かにする」「地域の想いをつなぐ」「自然資源を循環させる」の5つを定めています。本リリースの取り組みは、「& EARTH for Nature」における重点課題の1つに貢献しています。

